

# 現在、光ディスク等や紙レセプトで 請求を行っている医療機関・薬局の皆さまへ

- 2024年度から、法令に基づき、レセプトの請求方法の取扱いが変わります。
- オンライン請求が基本的な請求方法となり、現在、光ディスク等や紙レセプトで請求を行っている医療機関・薬局の皆さまも、オンライン請求への移行をご検討ください。
- 光ディスク等や紙レセプトでの請求を続ける場合には、以下のとおり、届出等の提出が必要になりますので、期限までに届出等を行うようお願いします。

## 1 現在、**光ディスク**等で請求を行っている

2024年3月末までにオンライン請求に移行

できる

できない

2024年9月末までにオンライン請求に移行

できる

できない

猶予届出等は不要

猶予届出・移行計画の提出が必要

※ オンライン請求を開始するには、その2月前の20日までに医療機関等向け総合ポータルサイトからオンライン請求の利用申請等が必要です。  
※ 期限までに廃止する場合も届出等は不要です。

※ 届出は医療機関等向け総合ポータルサイトの届出フォーム（4月頃開設予定）から、**8月31日まで**にお願いします。  
※ 9月末までにオンライン請求に移行する予定でも、移行が10月以降にずれ込むおそれがある場合は、念のため提出をご検討ください。

## 2 現在、**紙レセプト**で請求を行っている

2024年4月以降も「紙レセプト請求が継続できる  
場合」のいずれかに該当し、継続する

はい

該当しない・継続しない

猶予届出が必要

猶予届出は不要。2024年4月以降はオンライン  
請求に対応できるようご対応ください。

※ 届出は、支払基金本部と国保連合会の両方に、**2月29日まで**にお願いします。  
※ 3月末までにオンライン請求に移行する予定でも、移行が4月以降にずれ込むおそれがある場合は、念のため提出をご検討ください。

※ オンライン請求を開始するには、その2月前の20日までに医療機関等向け総合ポータルサイトからオンライン請求の利用申請等が必要です。  
※ 期限までに廃止する場合も届出等は不要です。

### 紙レセプト請求が継続できる場合

※かつて届出を行った類型に則してご検討ください。  
【1】レセコンを使用していない（手書き請求）  
【2】常勤医師等が高齢で、最も若い者の生年月日が右の表の日付以前である

レセコンを使っている薬局	1944年4月1日
レセコンを使っている医科診療所	1945年7月1日
レセコンを使っている歯科診療所	1946年4月1日
レセコンを使っていない診療所・薬局	